

憲法 25 条「健康で文化的な最低限度の生活」を支える

# 年金・生活保護・最賃の学習決起集会

～「生活実態調査アンケート」スタート集会～

年金者組合神奈川県本部  
神奈川県生活と健康を守る会連合会  
神奈川県労働組合総連合  
神奈川県社会保障推進協議会

国は最低賃金を法律と憲法に違反して先進国最低水準に放置し、さらに生活保護水準と年金の引き下げを行おうとしています。

こうした動きに反撃するためには、当事者の「健康で文化的な最低限度の生活」ができていない実態をつかみ、社会的被害が発生している事実を告発する必要があります。そこで共闘して「生活実態調査」に取り組むこととしました。

憲法 25 条の「すべて国民は、健康で文化的な最低限度の生活を営む権利」を支える（ナショナルミニマム）年金・生活保護・最低賃金を守り、大幅に引き上げるため、現在の緊迫した情勢とアンケート運動の意義を学び交流します。

**日時** 5月18日（土） 13:30～16:00  
**会場** 神奈川県民ホール 大会議室

<内容>

**講演** 金澤誠一 佛教大学教授  
**最低生活保障（ナショナルミニマム）と年金・生活保護・最低賃金。「生活実態調査」の意義について**

- 各分野からの報告と訴え
  - ・年金をめぐる情勢と課題  
年金者組合神奈川県本部
  - ・生活保護をめぐる情勢と課題  
神奈川県生活と健康を守る会連合会
  - ・最低賃金裁判の到達点と課題  
神奈川県労働組合総連合

